

3歳児教育課程(Ⅰ期～Ⅱ期) 広島女学院ゲーンズ幼稚園

月	4	5	5	6
期	Ⅰ期		Ⅱ期	
幼児の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての集団生活で、戸惑い、泣いたり、保護者の後を追ったり、離れられないなど、不安な気持ちを様々な形で表現する姿が見られる。 ・園生活に少しずつ慣れ、自分から遊び始めるが、急に人の物を取ってみたり、取られたりして、泣いたり叩いたり怒ったりする姿がある。 ・一日の流れ(登園、遊ぶ、片付け、集まる、おやつ、降園など)が分かってくる。 ・行動には時間がかかり、個人差が大きい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・園生活に少しずつ慣れて緊張がとれてきているが、今まで元気に登園していると思っていた子が急に泣いたり、登園を嫌がったりする姿が見られる。 ・保育者の傍で安心を覚え遊び始める子どもや友達に興味をもち始める子どもがいる。 ・虫(だんご虫、あり、ちょう)、川の生き物(ヤゴ、おたまじゃくし、アメンボ)を捕まえて喜び、会話時にその話題を取り上げると興味を持って聞こうとする。 ・遊びに夢中になっているため、片付け、持ち物の始末に時間がかかる子どもがいる。 	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の生活を知り、保育者に守られて過ごす。【健康・人間関係・環境・言葉・表現】 ・神さまと出会い、お祈りする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・園生活に慣れ、安心して過ごす。【健康・人間関係・環境・言葉・表現】 ・生活に必要な習慣を知る【環境・健康】 	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○先生やクラスを知る ○登園する <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする ○身の回りの始末をする ○用便や手洗いをする ○先生と一緒に遊ぶ ○集まりをする <ul style="list-style-type: none"> ・お祈りする ・お話を聞く ・手遊び、歌、リズムなどをする ○おやつを食べる ○ゲーンズDAYを知る <ul style="list-style-type: none"> ・ゲーンズ先生のお話を聞く ○こいのぼり制作をする 		<ul style="list-style-type: none"> ○園生活に慣れる ○好きな遊びをする 〈室内〉 ままごと、積み木、汽車、ブロック、絵を描く、パズル、ヒモ通し、コリントゲーム、箱製作、はさみ、のり、セロハンテープ、絵の具、プレイダー 〈室外〉 泥遊び、砂遊び、水遊び、動物(うさぎ、孔雀、鶏)に餌やり、遊具(三輪車、スケーター、滑り台、ブランコなど)、サッカー、野球、しゃぼん玉 ○着替えをする ○戸外では帽子をかぶる ○検診を受ける (眼科、歯科、耳鼻科、内科) ○お弁当を食べる ○野菜の種、さつまいもの苗を植え、育てる (、スナックえんどう、たまねぎ、にんじん、おくら) ○身体測定をする 	
環境と配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の用意が順調にできるように、靴や持ち物の始末には声かけを繰り返す必要がある。 ・基本的な生活習慣(身の回りのことや排泄など)のことなどペープサートを用いて話をする。 ・各学年の活動や各クラスの動きを毎日フリーの先生方とよく話をして、子ども達が危険などがないよう配慮をする。(保育室、園庭) ・目についた物で遊び始められるように、机の上におもちゃを置いて遊びかけの状態にしておいたり、園庭の机や砂場にもままごと道具や砂遊びができる状態にしておく。 ・排泄には個人差があるので十分に把握しておき、声かけをこまめにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・生活や遊び、気持ちの面でも援助できるように語りかけたりアイコンタクトをする。 ・どの子どもにも分かりやすく、活動しやすく、利用しやすく、片付けやすく、子どもたちの動線も配慮して保育室、園庭環境を整えていく。 ・朝はおもちゃなど子どもが遊び出しやすいよう遊びかけのままを出しておいたり、園庭の机にお皿やスコップ、じょうろなどを置いておく。 ・行動範囲も広がって園内のさまざまな場所に行ってみようとするので保育室と園庭とで遊ぶ子ども達をしっかりと受け止めたり、危険な行動のないように気を配る。特に気になる子どもなどは補助の先生とよく話をして、できるだけ傍にいたりどこにいるのか常に把握しておく。 ・気候のよい月なのでできるだけ屋外に出て植物や動物、自然に触れて過せるよう園庭全体にも心を配り環境構成をしておく。 	

3歳児教育課程(Ⅲ期～Ⅳ期)

月	6	7	8	9	10
期	Ⅲ期			Ⅳ期	
幼児の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びたい友達や、やりたいことがはっきりしてくる。 ・園生活に慣れて余裕がでてくると同時に、子どもたちの遊び方も大胆になり楽しさも増している。その激しさに戸惑いと驚きで、興味はあるのだが一歩引いたところで見ている子どももいる。 ・のり、ハサミ、セロテープ、を使うことで製作に広がりが出てきたが、ハサミの使い方の個人差は大きい。 ・天気の良い日には水遊びをする子どもも出てきた。 ・子どもたち同士で名前を呼んだり、一緒にいることを楽しんだりしている。 ・一緒に遊ぶ中で、物の取り合いや思いが伝わらない時などに叩いたり、ひっかいたり、強い口調で言い合う姿が見られる。 ・「○○ちゃんがお休みでさみしいね。」「○○ちゃんが××していた」などと周りの子どもたちのことも意識している。 			<ul style="list-style-type: none"> ・久しぶりの幼稚園に期待をもって登園する子もいるが、反対に園生活のリズムがなかなか取り戻せずにぐずる子や、遊びが見つからない子もいる。 ・夏休み前と比べると言語表現も活発になり、夏休みに経験したことなどを保育者や友達に嬉しそうに話す。 ・身辺整理を自分でやろうとし、できたことを喜ぶ姿が見られる。 ・戸外で思いきり体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ・遊びを通して気の合う友達を見つけ、ままごとやごっこ遊びなどを楽しんでいる姿が見られる。 ・夏の疲れ、気温差の激しさから、体調を崩す子どもがいる。 	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好きな遊びを見つけて遊ぶ。【健康・人間関係・環境・言葉・表現】 ・梅雨を健康に過ごし、夏の遊びを楽しむ。【健康・環境・表現】 			<ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に体を思いきり動かして遊ぶ。 	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 梅雨の時期を健康に過ごす。 <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、食後のうがいをする。 ○ 夏の生活をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・帽子をかぶる。 ・汗を拭く。 ・濡れた服は着替える。 ・休息をとる。 ○ プールに入る。 <ul style="list-style-type: none"> ・準備体操をする。 ・シャワーを浴びる。 ・プールで遊ぶ。 ・パンツを脱いで絞る。 ・タオルで体をふく。 ○ 夏の自然に親しむ <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の生長を見る、食す。 ・虫捕り、虫探しをする。 ○ 夏休みを迎える。 <ul style="list-style-type: none"> ・保育室、園庭を掃除する。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 園生活のリズムを取り戻す <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣を確認する ・身辺整理 ・手洗い ・着替え ・お弁当 ・汗を拭く、鼻をかむ ・水分をとるなど ○ 夏休みに経験したことを保育者や友達に伝える ○ 敬老会でおじいちゃん・おばあちゃんと楽しい時を持つ ○ 初秋の自然に触れる <ul style="list-style-type: none"> ・虫(バッタ、トンボなど) ・草花(ススキ、コスモス、ヤマゴボウなど) ○ お月見を知る <ul style="list-style-type: none"> ・お月様の話を聞く ○ 創立記念日を知る (10月1日) <ul style="list-style-type: none"> ・ゲーンズ先生の話を聞く ○ 運動会を楽しむ 	
環境と配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・気温も上がり、蒸し暑い日も多くなるので、保育室にエアコンを入れお弁当を保管する。 ・水遊び(プール)が始まり、服の着脱などの援助が必要な子ども達を個人個人見ておく。 ・雨が続く場合、ホールなどで思いきり体を使って遊べるように準備する。 ・外で遊ぶときは、必ず帽子をかぶるように促す。 ・帰るとき、忘れ物をしないように気をつける。(帽子、プールバックなど) 			<ul style="list-style-type: none"> ・気候に合わせて水遊び、プール遊びが行えるように準備しておく。 ・外で遊ぶ時は、必ず帽子をかぶるように促す。 ・熱中症にならない為に水分(塩分)補給をするよう促す。また、水分を取らない子どもに対しては個人的に声をかけるなど配慮する。 ・保育前後には園庭整備(机を木陰においておく)をし、危険な場所がないかしっかりと確認しておく。 ・すぐにお茶を飲めるようにコップをタオルかけにかけておく 	

3歳児教育課程(V期～VI期) 広島女学院ゲーンズ幼稚園

月	10	11	11	12
期	V期		VI期	
幼児の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・気温の差が激しいためか、鼻風邪をひいている子ども、咳をする子が多い。 ・友達と遊ぶ中でトラブルが起きた時、自分の思いを相手に伝えようとしたり、周りの子ども達が間に入ろうとする姿が見られるようになった。 ・それぞれの遊びの中で活動的に動き、自分の力を発揮しようとする。 ・言葉が増え、友達との会話も続くようになった。 ・一つの遊びを大人数で遊ぶようになってきた。 ・外で体を動かさず遊びを好み、楽しむ姿が見られる。 ・虫を捕まえ、名前・体のつくりなどに興味を持って観察している。 ・箱製作などで新しい素材にも興味を持ち、いろいろな物を作って「先生、みてみて。」と言ったり、それを使って遊ぶなど、製作意欲がみられる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・気の合う友達ができ自分の気持ちやイメージを表現することを楽しむようになり、遊びの持続時間も長くなってきた。その反面、自分の思いを通そうとし自己主張や対立が多くなってきた。 ・落ち葉やどんぐりなどの木の実を集めることを楽しむ。 ・作品展を経験したことで、製作に興味がなかった子どもたちも製作を楽しむ姿が出てきて活動が盛んになってきた。 ・遊びこんでいる時などに、トイレをぎりぎりまで我慢して失敗することもある。 ・自分のはさみを持つ喜びと共に管理もできるようになるが、遊びに夢中になりやらない子どももいる。 ・園庭でかけっこをしたり、室内で音楽をかけると曲にあわせて体を自由に動かすようになる。 	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・気の合う友達と一緒に遊びを楽しむ。【人間関係・言葉・表現】 ・秋の自然に触れる。【環境・表現】 		<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスを楽しみに待ち、みんなで喜ぶ。 ・友達との関わりの中で喜びや葛藤を味わう 	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○気の合う友達と遊ぶ ○園バスで空城山公園に遠足に行く <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりや木の実、木の葉を集める ・アスレチックをする ○芋掘りをする ○ハロウィンを知る <ul style="list-style-type: none"> ・変装をする ・お面を作る ・アメをもらう ○秋の自然に親しむ <ul style="list-style-type: none"> ・虫捕りをする ・虫の鳴き声を聞く ・秋の実りに触れる ・水栽培(ヒヤシンス)をする 		<ul style="list-style-type: none"> ○冬の健康に気をつける。 <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣に関心をもち、自分からやろうとする。 ○持ち物の片付けを丁寧にしようとする。 ○戸外で遊ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・戸外で体を動かして遊ぶ(かくれんぼ、鬼ごっこ、かごめかごめ、あぶくたつたなど) ○友達と遊ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・相手の意見を受け入れながら遊ぶ ○どんぐり、まつぼっくり、木の枝などを拾いにいく。(ぼうけんの森、大学構内) ○カレンダー製作をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・冬休みやお正月が来ることを知る。 	
環境と配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・朝と日中との気温差が激しいので、上着の着脱を促したり、自分でできるように声をかける。 ・体調を崩しやすいことから、手洗い、うがいを促し、鼻の噛み方やティッシュの場所の確認をする。 ・作品展が近づくと担任は保育室にこもりがちになるので、各学年の活動や各クラスの動きを毎日フリーの先生とよく話をして、外で遊ぶ子ども達に危険などが無いよう配慮をする。 ・いろいろな素材を準備して毎回出す度に、使い方などを紹介する 		<ul style="list-style-type: none"> ・気温の変化にあわせて、衣類の着脱を促す。 ・手袋、マフラーは保育中は着用しない。 ・寒い時は、室内やテラスを走ることが多くなるので、声をかける。 ・大型つみきで遊ぶ時には、必ず上靴を履く。 	

3歳児教育課程(Ⅶ期～Ⅷ期) 広島女学院ゲーンズ幼稚園

月	1	2	2	3
期	Ⅶ期		Ⅷ期	
幼児の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスをみんなで喜びじっくりと待った経験から、少しずつ生活の中でも様々な場面で待てるようになっていく。 ・冬休みの経験を友達や先生に積極的に話し、会話を楽しんでいる。 ・休み明けにもかかわらずスムーズに友達の中に入って遊んでいるが、中には甘えてくる子や、生活リズムの崩れから眠たそうな子どももいる。 ・お正月遊び(はねつき、かるた、こま、カードゲーム)など、じっくりと遊ぶ姿が見られる。 ・友達と交わること、一緒にいることで楽しさを感じている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・風邪をひいて体調を崩している子どもも多いが、外で元気に遊ぶ子どももいる。 ・友達とのつながりも深くなり、クラスとしてのまとまりがでてきた。 ・簡単なゲームのルールを理解し、楽しんでゲームに参加している。 ゲーム メモリーカード、かるた、イスとりゲーム、フルーツバスケット、だるまさんがころんだ、はないちもんめ、かごめかごめ、あぶくたつた、いろいろな鬼ごっこ など ・友達とグループになり、自分達で遊びを發展させたりしながら、ごっこ遊びや一つのことを一緒に楽しんでいる。 ・ケンカやトラブルが起こると自分の主張もするが、相手の気持ちも考えるようになった。 	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と関わり合っって遊びを創り出す【人間関係・環境・言葉・表現】 		<ul style="list-style-type: none"> ・ルールのある遊びを楽しむ【環境・人間関係・言葉・表現】 ・自然の変化に目を向ける。【環境】 ・進級を前に、大きくなったことを喜ぶ。【人間関係・健康・言葉】 	
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○元気に登園する <ul style="list-style-type: none"> ・新年の挨拶をする ・始園礼拝に参加する ・冬休みに経験したことを保育者や友達と会話する ○基本的生活習慣、身の回りの始末を自分でする <ul style="list-style-type: none"> ・身辺整理、手洗い、うがい、排泄、着替え、お弁当、片付け、鼻をかむ など ○お正月の遊びをする <ul style="list-style-type: none"> <室内> <ul style="list-style-type: none"> かるた、こま、けん玉、メモリーカード、羽つき、サイコロ 遊び(すごろく)、 たこ作り、こま作り など <戸外> <ul style="list-style-type: none"> ・たこあげ、鬼ごっこ、おしくらまんじゅう、はないちもんめ、かごめ、だるまさんがころんだ、 ○もちつきを見る <ul style="list-style-type: none"> ・杵やうす、もちがができる様子を見る ・もちを丸める、食べる ○劇団風の子を観劇する ○冬の自然に触れ親しむ <ul style="list-style-type: none"> ・氷に触る、割る、作る ・雪で遊ぶ (雪だるま、雪合戦など) <ul style="list-style-type: none"> ・球根の芽吹きに気付く ・ぼうけんの森に行く ○ホットケーキを食べる <ul style="list-style-type: none"> ・ホットケーキを作る、焼く様子を見る ・はちみつをつけて食べる 		<ul style="list-style-type: none"> ○冬の健康に気をつける <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがいをする ・鼻をかむ ・手を洗う(トイレの後の手洗い) ○ひなまつりを知る <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園のひな飾りを見る ・ひなまつりの歌を歌う ・ひな飾りを作る ○春が来たことに気づく <ul style="list-style-type: none"> ・春の芽生えを見る(木の芽、梅・桃のつぼみ、つくし、チューリップの芽など) ○年中組へ進級することに期待をもつ <ul style="list-style-type: none"> ・年中組の保育室で年中児と一緒に弁当を食べる。 ・年中さんと一緒にぼうけんの森に行く。 ○終園礼拝に参加する <ul style="list-style-type: none"> ・年中組のクラスをみんなで見に行く ・新しいクラスの先生を知り、お話を聞く 	
環境と配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・朝は特に気温が低いので、登園前の時間から少し室内の温度を高め設定し調節していくようにする。 ・外に出る時は必ず上着を着るように促す。 ・体調を崩しやすい季節の為、手洗い、うがいを徹底できるようにする。 ・基本的生活習慣や身の回りの始末が苦手な子どもには、個人的に援助していく。 		<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、うがいを励行し、鼻の噛み方やティッシュの場所の確認をする。アルコール消毒を用意する。 ・保育室の温度調節や湿度、換気などに気をつける。 ・室内遊びが多くなるので、天気の良い日はなるべく外遊びができるような配慮を心がける。 ・基本的生活習慣や身の回りの始末が苦手な子どもを把握し、個人的に援助したり、声をかける。 ・コンサート、劇遊び、お店やさん、人形劇、積木など、共同遊びが展開できるような遊びを取り入れたり、環境を整える。 ・保育室のおもちゃなど紛失しているもの、足りないものなどを確認しておく。 	